



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社ビジョン

上場取引所 東

コード番号 9416

URL https://www.vision-net.co.jp/

代表者(役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐野 健一

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員CFO兼管理本部長 (氏名) 中本 新一 (TEL) 03-5325-0344

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	13,108	△36.2	58	△98.0	167	△94.4	△1,226	-
2019年12月期第3四半期	20,547	29.9	2,970	39.0	3,011	40.3	1,986	38.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △1,205百万円(-%) 2019年12月期第3四半期 1,950百万円(36.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△25.94	-
2019年12月期第3四半期	41.00	39.61

(注) 当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	11,046	8,716	78.7
2019年12月期	15,173	10,905	71.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 8,694百万円 2019年12月期 10,883百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	0.00	-	-	-
2020年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	△38.9	58	△98.3	167	△95.0	△1,226	-	△26.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期3Q	49,027,800株	2019年12月期	49,027,200株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,948,044株	2019年12月期	1,039,044株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期3Q	47,270,324株	2019年12月期3Q	48,459,528株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。このところ持ち直しの動きもみられます。先行きについては、感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、国内外の同感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような経済環境のもと、当社グループは、速やかに事業ポートフォリオの見直し（情報通信サービス事業、日本国内におけるWi-Fiレンタル事業への注力）、及びコストの圧縮に舵を切り、2020年8月には株式会社プロドライバーズを売却し、影響を最小限に抑えるべく努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間において営業利益は黒字となり、資金収支も当第3四半期連結会計期間において黒字に転換いたしました。旅行需要の急減速による影響と、レンタル資産をはじめとするグローバルWi-Fi事業関連資産の減損損失の計上、一部の投資先における投資有価証券評価損の計上等が影響し、当第3四半期連結累計期間における実績は前年同期実績を下回る結果となりました。

	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,108	20,547	△7,439	△36.2
営業利益	58	2,970	△2,912	△98.0
経常利益	167	3,011	△2,844	△94.4
親会社株主に帰属する四 半期純利益又は親会社株 主に帰属する四半期純損 失(△)	△1,226	1,986	△3,213	—

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

## (グローバルWi-Fi事業)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内を含む多くの国において海外渡航制限や外出制限などの措置が取られたことにより、世界的に旅行需要は停滞し、当第3四半期連結累計期間における日本人出国者数、訪日外国人数はそれぞれ、前年同期比79.6%減、83.7%減と大きく減少いたしました（出典：日本政府観光局（JNTO））。

このような環境の中、2月を境に新規の申し込みは大きく減少することとなり、既存の申し込みのキャンセルが相次ぎ、海外子会社においては政府の要請により一時休業を余儀なくされました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高、セグメント利益はともに前年同期実績を下回る結果となりました。

	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	5,906	13,269	△7,363	△55.5
セグメント利益またはセ グメント損失(△)	△48	2,870	△2,919	—

影響を最小限に抑えるべく、アウトバウンド事業、インバウンド事業は一時的に縮小し、従量課金契約による通信原価の抑制、空港や物流関連における業務委託の縮小、一部従業員の需要が見込める他事業への配置転換などにより、コスト削減に努めました。

一方で、感染拡大の防止と従業員の安全確保を目的としてテレワークを導入する企業が増加し、政府の「GIGAスクール構想」の進捗とともにオンライン教育が普及する中、国内における通信需要が高まり、日本国内のWi-Fiレンタル事業については、第3四半期連結累計期間において過去最高の売上となりました。

また、一部の国との間で「ビジネストラック」や「レジデンストラック」の運用が開始されたことで、徐々にアウトバウンドの需要が出てきておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の推移とともに今後の市場動向を注視しつつ、柔軟に対応してまいります。

## (情報通信サービス事業)

当事業では、新設法人・ベンチャー企業を主要ターゲットとし、企業の成長とニーズにあわせたアップセル・クロスセルを提案しております。当事業においては、WEBサイトからの問い合わせ対応やテレマーケティング営業に順次テレワークを取り入れ、訪問営業はテレビ会議による営業にスタイルを変えていくことで、外出自粛要請による営業機会の損失に対処してまいりました。

テレワークを導入する企業が増加する中で、移動体通信機器が好調な売れ行きを示し、初期導入コストを抑えることができる簡易ホームページ制作サービス「Vision Crafts! (ビジョクラ)」の受注が堅調に推移いたしましたが、国内のリース取扱高が9ヶ月連続減少(出典:公益社団法人リース事業協会)していることもあり、リース契約によるOA機器販売の受注が減少した結果、売上高は前年同期実績を下回る結果となりました。

一方で、工事やホームページ制作の内製化推進による原価の低減、不要不急の費用支出の抑制による効果もあり、セグメント利益は前年同期実績を上回る結果となりました。

	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	6,666	6,840	△173	△2.5
セグメント利益	1,184	1,174	10	0.9

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は11,046百万円(前連結会計年度末比4,126百万円減)となりました。

流動資産は、8,689百万円(前連結会計年度末比3,103百万円減)となり、その主な要因は、現金及び預金が2,406百万円、受取手形及び売掛金が701百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は、2,357百万円(前連結会計年度末比1,023百万円減)となり、その主な要因は、減損損失等の計上により有形固定資産が853百万円、無形固定資産が481百万円減少したことによるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,330百万円(前連結会計年度末比1,937百万円減)となりました。

流動負債は、2,271百万円(前連結会計年度末比1,950百万円減)となり、その主な要因は、支払手形及び買掛金が536百万円、未払法人税が599百万円、賞与引当金が199百万円減少したことによるものです。

固定負債は、58百万円(前連結会計年度末比12百万円増)となっております。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,716百万円(前連結会計年度末比2,188百万円減)となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失1,226百万円の計上、自己株式の取得により985百万円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月17日に公表した値を、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき上方修正しております。

算定にあたり、観光客を除いたビジネス渡航等の入国制限の段階的な解除が進められておりますが、新型コロナウイルス感染症による海外渡航者(アウトバウンド・インバウンド)の激減は、2020年12月期末以降においても継続すること、また国内においては緊急事態宣言等の再度の発出など社会的制限が実施されないことを前提にしております。

その結果、当期の売上高16,700百万円、営業利益58百万円、経常利益167百万円、親会社株主に帰属する当期純損失△1,226百万円と予想しております。

詳細につきましては、2020年11月9日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,485,363	6,079,289
受取手形及び売掛金	2,218,880	1,517,069
商品	137,781	133,874
貯蔵品	2,654	5,768
その他	1,014,524	1,045,574
貸倒引当金	△66,985	△92,448
流動資産合計	11,792,219	8,689,127
固定資産		
有形固定資産	1,200,166	346,524
無形固定資産	666,632	185,107
投資その他の資産		
その他	1,549,240	1,863,834
貸倒引当金	△34,683	△37,691
投資その他の資産合計	1,514,556	1,826,142
固定資産合計	3,381,355	2,357,774
資産合計	15,173,575	11,046,902
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,203,040	666,462
未払法人税等	634,399	35,275
賞与引当金	280,319	81,179
短期解約返戻引当金	39,538	50,894
その他	2,065,056	1,437,992
流動負債合計	4,222,353	2,271,804
固定負債		
その他	46,045	58,861
固定負債合計	46,045	58,861
負債合計	4,268,399	2,330,666
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,363,734	2,363,785
資本剰余金	2,396,192	2,396,243
利益剰余金	7,543,337	6,317,003
自己株式	△1,431,110	△2,416,784
株主資本合計	10,872,153	8,660,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,238	38,802
繰延ヘッジ損益	18,791	△459
為替換算調整勘定	1,124	△4,133
その他の包括利益累計額合計	11,678	34,208
新株予約権	21,344	21,344
非支配株主持分	—	435
純資産合計	10,905,176	8,716,235
負債純資産合計	15,173,575	11,046,902

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	20,547,349	13,108,091
売上原価	8,576,441	6,284,066
売上総利益	11,970,908	6,824,025
販売費及び一般管理費	9,000,477	6,765,844
営業利益	2,970,431	58,180
営業外収益		
受取利息	1,086	732
受取配当金	1,502	1,500
助成金収入	67,145	106,456
その他	4,991	15,994
営業外収益合計	74,725	124,684
営業外費用		
支払利息	10,413	5,249
自己株式取得費用	20,182	767
支払手数料	—	8,643
その他	2,613	391
営業外費用合計	33,210	15,051
経常利益	3,011,946	167,813
特別利益		
固定資産売却益	462	4,793
投資有価証券売却益	—	3,402
子会社株式売却益	—	62,867
特別利益合計	462	71,063
特別損失		
固定資産除却損	7,990	1,176
リース解約損	—	6,469
投資有価証券評価損	78,433	187,658
事務所移転費用	—	7,070
減損損失	—	1,395,072
特別損失合計	86,424	1,597,447
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,925,985	△1,358,570
法人税、住民税及び事業税	934,702	113,945
法人税等調整額	4,543	△244,616
法人税等合計	939,246	△130,671
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,986,739	△1,227,898
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,564
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,986,739	△1,226,334

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,986,739	△1,227,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,586	47,040
繰延ヘッジ損益	△7,828	△19,251
為替換算調整勘定	△26,698	△5,258
その他の包括利益合計	△36,113	22,530
四半期包括利益	1,950,625	△1,205,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,950,625	△1,203,803
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,564

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けの方法により自己株式243,500株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,120,100千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,431,110千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年2月21日開催の取締役会決議に基づき、市場買付けの方法により自己株式909,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が985,674千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,416,784千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル Wi-Fi事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	13,269,903	6,839,323	20,109,227	438,121	20,547,349	—	20,547,349
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	714	714	5,169	5,883	△5,883	—
計	13,269,903	6,840,037	20,109,941	443,291	20,553,233	△5,883	20,547,349
セグメント利益又 は損失(△)	2,870,829	1,174,633	4,045,462	△219,268	3,826,194	△855,762	2,970,431

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイヤータイムシェアリングサービス事業、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△855,762千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル Wi-Fi事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,906,654	6,663,529	12,570,183	537,908	13,108,091	—	13,108,091
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2,999	2,999	555	3,555	△3,555	—
計	5,906,654	6,666,528	12,573,183	538,463	13,111,646	△3,555	13,108,091
セグメント利益又 は損失(△)	△48,462	1,184,885	1,136,422	△355,926	780,496	△722,316	58,180

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイヤータイムシェアリングサービス事業、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△722,316千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

グローバルWi-Fi事業及び「その他」セグメントに含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産(のれんを含む)について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,395,072千円であります。セグメントごとの減損損失の計上額は、グローバルW i F i 事業1,209,144千円、ハイヤータイムシェアリングサービス事業185,928千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントに含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業において、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は当第3四半期連結累計期間において119,924千円であります。